



…『キラキラ』の由来…
NPO・ボランティアなどの活動が活発になり、多くの市民の顔がキラキラ輝くようにという願いを込めました。

なくそう迷惑行為！モラル・マナーアップ北九州

NO:79 平成20年11月15日

…つぶやきサロン…



—創立55周年記念パーティを終えて—

11月9日、映画サークル（北九州映画サークル協議会）の創立55周年記念パーティが開催された。会場には北九州市内の劇場の支配人や映画サークルに青春をささげた懐かしいOB、そして現会員が一同に集まり、会員でシャンソン歌手のTAKAKOさんの歌に聞きほれながら、映画を語りあい、笑いあった。あっという間の楽しい、幸せなひと時だった。

映画サークルは1953年旧八幡市に「映画クラブ」として発足した。当初は映画を安く見るために割引活動を中心にしていたが、1959年、世界的名作「戦艦ポチョムキン」の自主上映活動を契機に、「会員が選び、会員が運営し、会員が鑑賞する」自主例会（自主上映）を活動の中心に据え、劇場では上映されない世界各国の名作を次々に例会に取り上げ上映・鑑賞してきた。そして、昨年自主例会500回を達成し、今年創立55周年を迎えた。これは日本の各都市でもめずらしい記録で大変誇りに思っている。

映画サークルは会員数約780名で、例会は毎月、ワーナーマイカルシネマズ戸畑と小倉昭和館をお借りして上映されており、運営はすべて会員のボランティアである。

私は1974年に先輩に勧められて入会し、最初に見たインド映画「大地のうた」3部作に大きな衝撃を受けた。主人公のオプー少年の人生がまるで大河のごとくゆったりと描かれ、それでいて飽きることなく、大きな感動に包みこまれた。それは今まで私が見ていた映画とはまるで違い、カルチャーショックであった。それ以後、例会は私にとっていろんな国の人々の生活や考え方が学べる世界発見の旅であり、宝物のような存在になった。

創立55周年の記念パーティを終えて、今つくづく感じている、これからも宝物を大事にし、仲間と共に、「2001年映画の旅」を続けて行こうと……。



北九州映画サークル協議会 運営委員長 半晴武二郎

第84回・サポートセンターの日/2008・10・27

NPO活動発表会 Let's enjoy! 国際協力活動



アジアの森を育てる会
事務局長 狩野 隆一さん



地球交遊クラブ 代表 服部 祐充子さん
世良 洋輔さんと末河 祥子さん(北九州市立大学生)

1993年に小学校5年生から高校3年生を対象に、アジアを訪問し、現地の子どもたちとふれ合いながら植林活動などを行う「子ども森ワークキャンプ」を開始しました。その後、この事業を継続して実施するために1994年2月に「アジアの森を育てる会」を結成しました。

これまでフィリピン10回、マレーシア2回、タイを3回訪問、2003年はSARSの影響を考慮して福岡市西区元岡地区の里山で竹林の管理体験及び環境学習を実施しました。

これまでの参加者はのべ583名、そのうち小中学生が約半数を占めています。(小学生延べ117名、中学生95名、高校生57名、計269名)毎年、現地の小中学校を訪問し、共同での植林作業やスポーツ・文化交流などを行い、同世代の子どもたちがふれあひながらお互いに環境問題に対する意識を高めています。

また、数年に一回、地域のいくつかの学校の生徒代表に集まってもらい環境フォーラムを実施しています。

2005年12月には環境大臣表彰(地球温暖化対策部門)を受賞。2007年11月には、ボランティアとして特に功績顕著な活動をした団体として北九州ボランティア顕彰委員会から表彰されました。

本年度の「子ども森ワークキャンプ」は8月16日～21日の日程で、小学4年生から83才までの23名が参加し、タイのラノー県を訪問しました。ここではマングローブの植林を行っており、国立のサーチセンターなどもあり、マングローブについて総合的に学ぶことができます。

参加者は現地の人たちと一緒に2日間で4,000本の木を植え、現地の小学校や村人の住まいを訪問し、フォーラムを行ったり、練習したりコーダー合奏を披露するなど交流を深めてきました。

植林活動は台風や津波の防災、二酸化炭素の吸収などのほかに、現地の人たちの生活の糧としての賃金収入にもなっており、生業としての効果ももたらしています。

ここ数年、小中高校生の参加者が減っているなど課題がありますが、募集年齢の幅を広げて参加者を募ったり、現地の人たちにホームステイするプログラムなども採り入れ、より充実したものにしていきたいと思っています。

今後もこの植林活動を続けていくことが大切だと思っています。

地球交遊クラブは、主に折尾・ひびきのをはじめ、北九州市内外の学生と留学生の活動を支援し、アジアの青年の相互理解と交流を推進する活動を行っています。

また、異世代交流によって、大人の経験や知識、人脈などと、若い感性や熱意と行動力を共に生かし、共に育む、従来にない国・世代を超えた掛け算のまちづくりの展開を目的としています。

これまでの活動としては、折尾・ひびきの学研都市の留学生へ日本語を教えることや、生活への適応のためのサポート、国内外でのボランティアや市民との協働事業の活動体験報告会などの「未来へのステージ」を定期的に実施しています。

今後は、大学祭に参加したり各種イベントを主催し、フェアトレードの紹介や販売をすることで世界の文化や経済、食糧から見えてくる現状と未来のあり方などを学び、国際理解と国際支援活動をすすめていきたいと思っています。

出会ったご縁、つながりから情報を共有・循環し、一緒に感動していきたいと思っています。

～ネパールを旅して～

9月1日から15日までの2週間、北九州市立大学の学生6名でネパールを訪れました。

目的は途上国と言われている国を訪れ、日本や私たちの生活と価値観が全く違う文化に触れることで、異文化に対する相互理解や普段の生活を見つめ直すことでした。

訪れたのは首都カトマンズからバスで5時間ほどのバラビシという街から、さらに山道を1時間歩いた標高3200mにあるラムチェ村で、電気はよく停電し、お風呂などの設備のない場所で現地の人たちと生活を共にしました。

村では子どもたちに英語を教えたり、富士山よりも標高が高い4500mの山をトレッキングしたり、日本ではできないことをたくさん経験することができ、タフさとそして大胆さが身につきました。

またネパールで支援活動をされている筋田雅則さんにお世話になり、ネパールの習慣、宗教、食事などに触れてきました。

ネパールの人たちはもてなし好きでとても温かく迎えてくれ、「ここに幸せがある」と感じるような本当に素敵な体験でした。



情報のひろば

イベント・ボランティア

◆第11回北九州市手話フェスティバル

12月の「障害者週間」にちなみ、市民と聴覚障害者の交流を深め、聴覚障害者への正しい理解と手話の普及を目的として開催します。

○日時：12月7日(日) 13:00~16:00
(開場：12:15~)

○会場：北九州芸術劇場大ホール(リバーウォーク)
○内容：記念講演、アトラクション(手話歌・手話劇)
○講師：松本猛氏(「安曇野ちひろ美術館」館長)
○入場料：大人2,000円(当日2,500円)
 小人1,500円(当日1,800円)
 親子ペア券3,000円(当日3,500円)

○主催・問合せ先：
第11回北九州市手話フェスティバル実行委員会
特定非営利活動法人北九州市聴覚障害者協会
TEL/FAX093-881-0114

◆ファミリークリスマス in 北九州 イベントサポートボランティア募集

乳幼児とその家族を対象にした、クリスマスイベントで、受付や、会場整理、抽選会の補助などをしていただきます。



○日時：12月20日(土) 9:00~13:00
○会場：北九州市男女共同参画センター“ムーブ”
1階交流広場

○募集人数：10名
○申込締切：12月13日(土)
○申込方法：事前に電話・FAX・メールで下記まで。
○主催・問合せ先：
特定非営利活動法人男女・子育て環境改善研究所
TEL/FAX092-761-4346
Eメール info@kosodate-npo.jp

★社会福祉助成事業

社会福祉関係者の資質向上に関する研修や調査研究などに対して、助成します。

★助成対象：社会福祉事業や福祉施設の運営、福祉活動などを目的とする社会福祉法人、福祉施設、福祉団体など

★助成額：1件につき30万程度

★締め切り：12月15日(金)(当日消印有効)

★財団法人 日本社会福祉弘済会 助成事業係

〒130-0022

東京都墨田区江東橋3-24-3

TEL03-3846-2172

FAX03-3846-2185

http://www.nisshasai.jp/



助成金

◆ホールアース自然学校の広瀬敏通さんと考える ~つながる、私と地域と世界の課題~

全国各地にある自然学校のモデルを作った広瀬さんと一緒に、自分の問題と世界のつながりを学びます。

○日時：12月6日(土) 13:30~17:00
(受付：13:00~)

○会場：九州国際センター(JICA九州)
3階「大会議室」

○定員：50名(要申込、定員になり次第締切)

○参加費：無料

○申込み・問合せ先：電話・FAX・Eメールで、
名前・連絡先を下記まで

JICAデスク北九州 高田

TEL093-662-0055

FAX093-662-6622

Eメール jicadpd-desk-kitakyushushi@jica.go.jp

◆「ふるさとをください」北九州上映会

—明日はみんなにくるんだよね!—

精神障害者への理解と地域との共生をテーマに、共同作業所の人々と地域で暮らす人々との心の変化や交流を描いた物語です。

○日時：12月13日(土) ①14:00②18:30
14日(日) ①14:00

○会場：北九州芸術劇場 中劇場

○入場料：一般1,300円、小・中・高校生、障害者
及び介助者1名、65歳以上1,000円

○主催：「ふるさとをください」北九州上映実行委員会

○問合せ先：のぞみ作業所

TEL093-921-0657

★財団法人在宅医療助成 勇美記念財団

在宅医療に携わる個人及びグループに対し、助成を行います。「一般公募」と「指定公募」があります。

★一般公募 在宅医療に関連したユニークな研究など
助成金総額：3,000万円(予定)、件数未定

★指定公募テーマ

①「過疎地における在宅医療の現状と課題」

②「最期をどう迎えるか」

助成金総額：200万円(予定)、件数未定

★指定公募

「市民講座開催への支援及びアンケート調査」

助成金総額：300万円(予定)、1件30万円

★公募締切：12月24日(水)必着

★財団法人在宅医療助成 勇美記念財団

〒102-0083

東京都千代田区鞠町3-5-1

全共連ビル鞠町館5階

TEL03-5226-6266

FAX03-5226-6269

Eメール：yuumizaidan@nifty.com

http://www.zaitakuiryo-yuumizaidan.com/

NPO法人の申請・認証状況

北九州市のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成20年10月31日現在

全国のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成20年9月30日現在

	受理数	認証数	不認証数
都道府県	33,996	32,796	390
【福岡県】	1,226	1,193	1
内閣府	3,076	2,863	118
全国計	37,072	35,659	508

	受理数	認証数	不認証数
【北九州】	252	232	—

2008年10月に認証された特定非営利活動法人

- 特定非営利活動法人まちネット人ネット九州
(10月14日認証)
- 特定非営利活動法人ひこうせん
(10月14日認証)



「NPO市民講演会」を開催しました！

- 日時：平成20年11月9日（日） 於：“ムーブ”5階大セミナールーム
- テーマ「自分流の社会貢献、始めてみませんか？
～自閉症のわが子と歩んだ市民活動の中でわかったこと～」
- 講師：明石洋子氏（社会福祉法人あおぞら共生会 副理事長）

—講演の内容を一部ご紹介します—

長男徹之は知的障害をもつ自閉症で、当時、自閉症は「母親の子育てのまずさが原因」といった誤解があり、地域の中で自閉症児を育てていくのは、想像する以上大変でした。また、親たちの運動は「施設建設」が主流で、施設で訓練しても自閉症が治るとも思えず、障害をありのまま受け止めて、「地域に根ざした生き方をしてほしい」と考え、地域の中に飛び出したのです。足の不自由な人には車椅子が必要なように、自閉症の子どもにとって車椅子の役割になるのは「人」だと考え、地域の中に支援者のネットワークを作っていました。

次に考えたのは、就労支援です。ジョブコーチ付きでないと知的障害者の就労は無理だったので、街の中の八百屋さん等、お店として交流できる地域作業所を

設立し、「地域への就労の拠点」としながら、ジョブコーチ養成にも力を注ぎました。「日中活動の場、暮らしの場、24時間365日必要な時のサポート体制」この三点セットが、地域の中にあり、気軽に使えれば、親亡き後の不安は解消すると思っています。現在は地域作業所2ヶ所、グループホーム4ヶ所、生活支援センターを設立運営しています。息子徹之は、定時制高校を卒業後、今は川崎市の公務員として働いています。前例がないと拒否されながらも高い壁に何度も挑戦し、扉を開けて来た30年間です。



北九州市市民活動サポートセンター

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4

北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”1F

TEL 093-562-5309 FAX 093-562-5310

URL <http://www2.kid.ne.jp/v-net/> E-mail: support3@axel.ocn.ne.jp

市民活動サポートセンターでは、NPO・ボランティア活動に関する相談や情報の提供を行っています。また、団体間のネットワークづくりの促進のため、定期的な交流会を開催しています。

◆サポートセンターの日 …毎月テーマを変えて、交流会をしています。

◆専門相談員が相談に対応 …月～土曜日 17:00～21:00
日曜・祝日 13:00～17:00

◆ミーティングコーナー…パーティーで仕切った無料の会議室。
※要予約

◆掲示板スペース…団体や活動に関するチラシ等を掲示しています。

—利用時間— 月曜日～土曜日《10:00～21:00》

日曜日・祝日 《10:00～17:00》

【休館日】11月27日（木）・12月26日（金）

編集後記

秋晴れのある日、木屋瀬を訪ねました。

北九州市の文化財に指定されている旧高崎家住宅（放送作家、伊馬春部さんの生家）に入ると、大きな大黒柱や、井戸に170年の歴史が残っています。天井も高くホッとする空間が広がっていました。

斜め前には自然食が楽しめるお店もあって、ついつい長居してしまいました。

遠くまで行かなくても、江戸の情緒と人情が感じられるお得な散歩コースです。

一度訪ねてみてください。

By yonmin105